

# NHPA050-1F

## 膜分離活性汚泥法（MBR）用 浸漬膜モジュール

東レのMBR用膜モジュールNHPAシリーズは、現行のNHPシリーズと同じく、膜エレメントを薄くして柔軟性を高め、設置面積あたりの膜面積を増やしています。また、NHPAシリーズはNHPシリーズの運転条件を維持しながらも、水量・高さ・幅などの様々な状況に合わせてモジュールの構成を調整可能です。

平膜エレメント	単位	
型式	TSP-50080	
公称孔径	μm	0.08
材質	膜	PVDFおよびPET不織布
	ノズル	PE
有効膜面積	m <sup>2</sup>	0.7
寸法（全幅 × 全高 × 厚さ）	mm	477 × 800 × 2
重量（乾燥時 / 湿潤時）	kg	0.25 / 0.5



図：NHPA050-1F

### モジュール

型式	エレメント 装填数 (枚)	カセット構造	膜面積 m <sup>2</sup>	外形寸法 (幅 × 長さ × 高さ) mm
ECS035 (カセット)	50	—	35	485 × 440 × 818 <sup>(1)</sup>
NHPA050-1F	50	(1列1段) × 1個	35	738 × 615 × 1,404

(1) 集水管を除いた寸法

重量 (乾燥時) kg	エアレーション ブロック	カセット / エレメントブロック	モジュール
ECS035 (カセット)	—	18	—
NHPA050-1F	20	50	70

### 用途

下水処理・工場等での廃水処理・中水再利用などの幅広い用途にご使用頂けます。

# NHPA050-1F

膜分離活性汚泥法（MBR）用 浸漬膜モジュール

散気管タイプ	散気量 <sup>(1)</sup> NL/分/モジュール <sup>(2)</sup>
微細散気管	330~430 (標準 430)

(1) ブロワなどの空気供給装置は標準運転条件下で設計して下さい  
(2) 0℃、101.325 kPa (1 atm)での空気量

運転条件	
水温	5~40 °C
pH	5~10
最大MLSS濃度	18,000 mg/L
膜間差圧	薬液洗浄：同一流量において初期安定圧力より 5 kPa 上昇するまでに実施 最大許容：20 kPa 以下
薬品洗浄時供給圧力	10 kPa 以下
洗浄薬品および濃度	次亜塩素酸ナトリウム：2,000~6,000 mg/L (10 < pH < 12) シュウ酸：0.5~1.0 wt% / クエン酸：1.0~3.0 wt%

材質	
フレーム	304SS (316SSはオプション)
集水管	PP
散気管	EPDM/PVC/SUS

配管接続	
集水管	ANSI 1 1/2 インチ フランジ (カセット1段あたり1ヶ所)
散気管	NPT 1 1/4インチ ねじ込み (片端1カ所)

\* 詳細については弊社までお問合せください。

東レ株式会社  
〒103-8666 東京都中央区日本橋室町2-1-1 日本橋三井タワー  
メンブレン事業第3部  
☎ 03-3245-4539    ✉ お問い合わせ

 LinkedIn     YouTube  
**water.toray**

東レは、本情報の適用から得られる結果、あるいは他社製品と併用した場合の東レ製品の安全性または、適合性についてなんら責任を負うものではありません。お客様の使用目的に対し、本製品の安全性および適合性を判断するために、お客様自身でテストされることをおすすめします。  
本データはすべて、技術的修正もしくは製品の変更によって、予告なく変更されることがあります。